

都道府県薬剤師会会長 殿

日本薬剤師会
会長 山本 信夫

令和6年能登半島地震への対応について（第八報）
～被災地への薬剤師派遣の継続等について～

令和6年能登半島地震への対応につきましては、各都道府県薬剤師会の皆様に格別のご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

震災発生後、約一月半が経過しましたが、全国からのご支援の甲斐あり、地域の医療体制も徐々に復旧し、薬剤師による支援活動の規模も震災直後と比較して縮小傾向にございます。

しかし、依然として避難所での生活を余儀なくされている方々がおられ、薬剤師による支援がまだまだ必要な状況にございます。このような状況に鑑みて、本会では、3月以降も派遣薬剤師による支援活動を継続する予定でございます。引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

なお、ご参考までに下記に2月15日現在の活動場所と活動チーム数を掲載いたします。活動チーム数はあくまで目安となり、現地の状況やニーズを踏まえて、変動する可能性がございます。また、必要なチーム数が限られているため、チームの活動期間が重複する場合は派遣をお断りする場合がございますが、あらかじめご理解くださいますようお願い申し上げます。

記

【活動場所と活動チーム数】※2月15日現在 2月末までの必要なチーム数については充足しています。

・珠洲	2チーム(モバイルファーマシー活動中)
・門前	2チーム(モバイルファーマシー活動中)
・輪島	1チーム
・1.5次避難所	1チーム
・柴垣現地本部	近畿ブロック各府県薬剤師会
・避難者休養用船舶	新潟・長野両薬剤師会(2/19以降、日薬スキームに移行予定)

※穴水(2/8完全撤退) 能登町(2/18完全撤退予定)

以上